

森の中の医療施設に変身中の
「新柏クリニック」



はじめに

- 当院は透析専門クリニック
- 透析とは、腎臓の機能を人工的に代替える治療
一般的には週3回通院し1回4～5時間行う

- 2016年大型木造建築の新クリニックに移転
この木材会館で移転の経緯、建物、患者さんの反応
について発表

新クリニックのコンセプト

- 人にやさしく、環境にやさしい
ぬくもりのあるクリニック
- 森林浴のできる透析室
- 安全性、快適性の更なる充実性



患者を癒す



緑の景色を楽しめる
木質仕上げの透析室

フィットネスガーデン
「めぐりの庭」



多職種が共に利用する
緑あふれる明るいスタッフルーム

緑で街区の統一感を
生み出した外構計画



職員に 地域を
愛される 潤す



新クリニックの特徴

- 窓が大きい
- 木のぬくもりと香りが感じられる
- ベッドの間隔が広い
- ベッドが向かい合わない



治療空間をとったことが今評価される

建築計画時

新型インフルエンザ流行への不安、感染症の危惧から

ベッド間の距離が広い

ベッドが向かい合わない

この治療空間を実現したことで、新型コロナと重なる
対策となった



安全、安心感に繋がり評価

「コロナ禍の昨今、ベッド間の距離が保たれ安心
落ち着いて治療が受けられる」

- 移転後、約5年が経過した今は？

室内

- 1、診療スペースが建築当初から変わらず美しい
- 2、ブラインドがきちんと開けられて運用されている
ガラスの清掃も行き届いている

外構 建物の外観の印象を高めている

- 1、植栽が大きく育った
- 2、芝生がきちんと管理されている

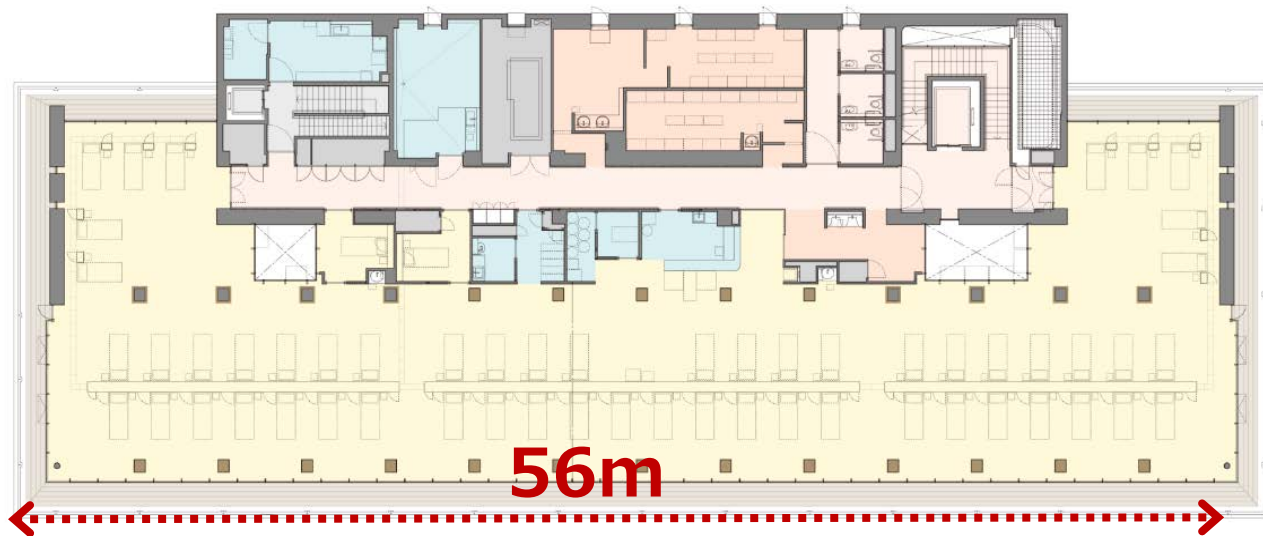
などお褒めの言葉を頂きました

建物

移転時



今年



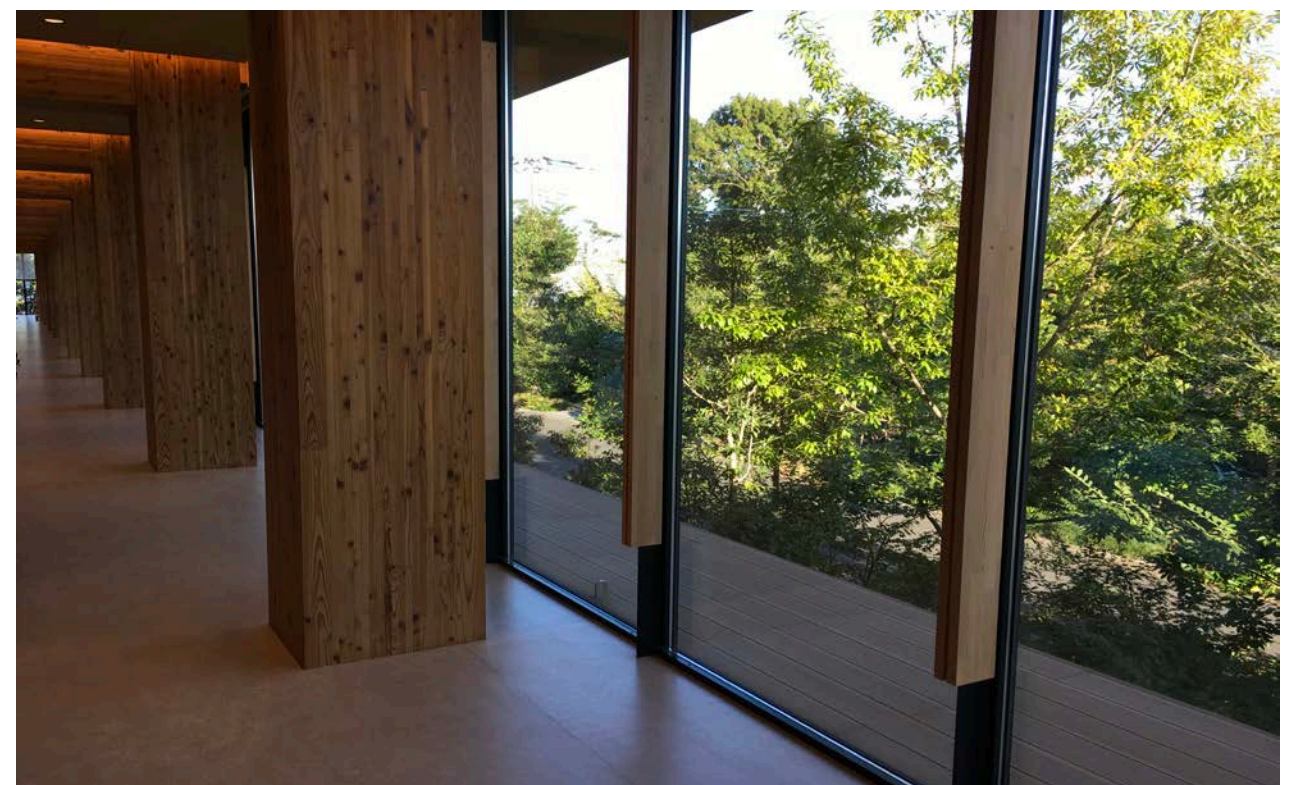
南面に大きな窓を配した幅56mの一室空間は開放感をもたらす



透析室

今年

移転時



ブラインドの運用

ブラインド使用→光が注ぎ気温が上がる時 ブラインドを開ける→空の青と木の緑で解放感



移転当時の南側空き地



めぐりの庭



ウォーキング教室



四季折々の風景



めぐりの庭

2017年
生き生きとした芝生



2019年 SEGES (Excellent
Stage1) 認定

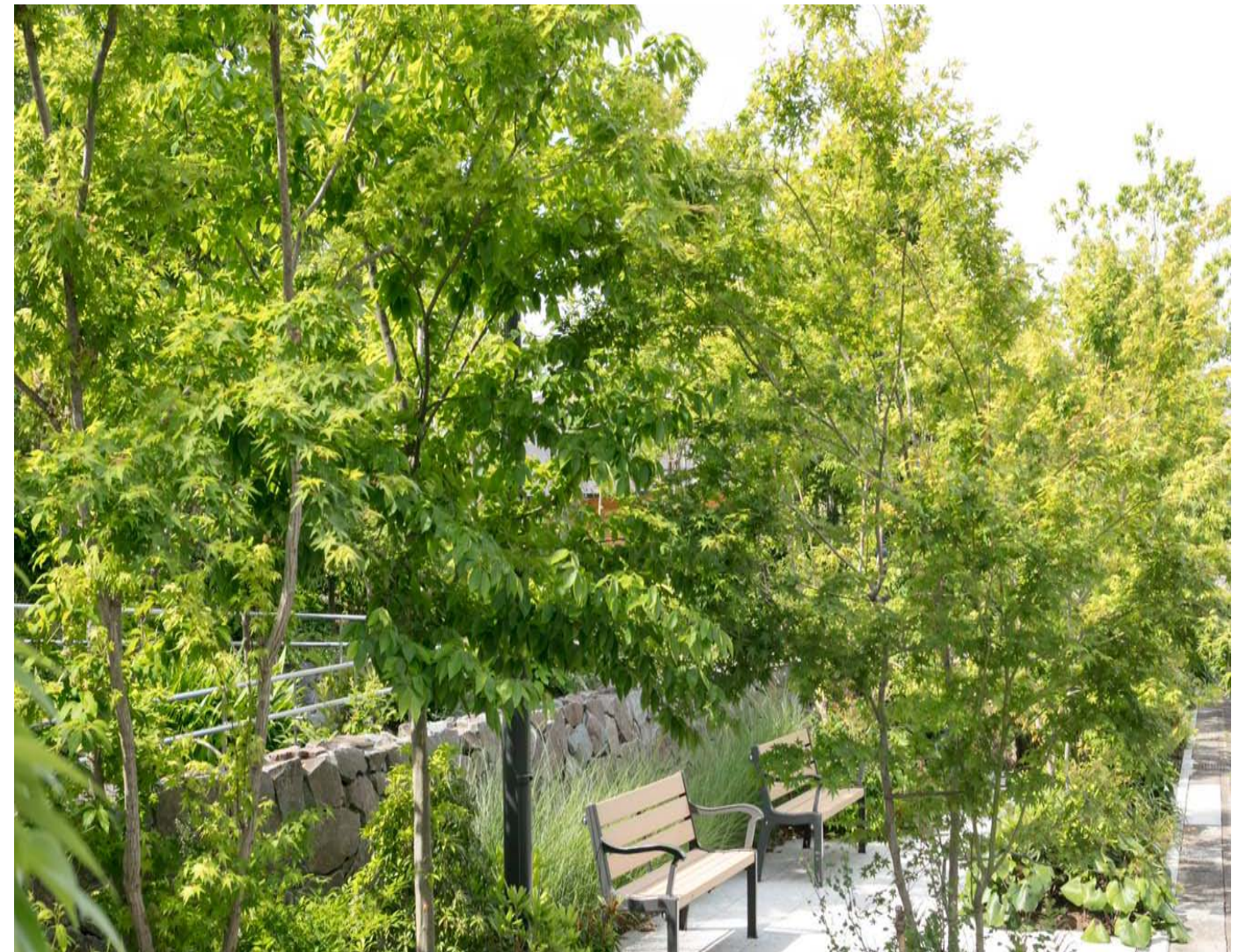


語り合いベンチ

「めぐりの庭」開設時



今年



医療機器が整然と並んでいる



エントランス東側にある芝生
(芝刈りロボットで管理)



5年経っても

建物の外観、透析室は、木の質感、温かいイメージなど、新築時と変わらない環境を維持できている

めぐりの庭は緑化が進み、森林浴のできるクリニックとなった

患者さんは

- 従来の患者さんの高齢化で車イスや介護タクシーの利用が増加
広い空間は、家族や介護ヘルパーさんにも好評



- 新規の患者さんは、70歳、80歳台が増加傾向
医師の面談時に反応の少ない患者さんも、木造の透析室を見学すると、「こりゃすごい。立派」「木の匂いがするね」「昔を思い出して懐かしい」と積極的な会話

- 他の施設で治療を受けた患者さんの声

「早く帰って来たかったよ」

「この環境が一番落ち着くね」

「ここなら腎移植の手術をしなくても良いかな」

- 他の施設から、臨時で当院で治療を受けた患者さんの声

「透析施設ではないみたい」

「木が主体となってホテルのよう」

「緑があって落ち着きますね」

「ずっとここで透析を受けたい」

患者さんの満足度以外は？

- 患者さんの増加につながっている
 - 現在のベッド数では満床の状況
 - 系列病院以外からの増加
 - ホームページを見た患者さん
 - 問い合わせの増加→見学→転院
- ハローワークの求人なしで、HPからの直接応募で看護師が充足されるようになった
 - (応募動機：この建物の中で仕事をしたい)

患者さんの心理の変化は？

アンケート調査から

対象 当院外来患者

方法 移転前後、1年後に無記名による
アンケート調査

設問1
「気に入っているところを自由記述」

設問2
POMS短縮版25項目

分析 竹中工務店 技術研究所

* 検証結果について

「設備面の環境改善が患者心理に
与える環境の検討」と題して
日本透析医学会で発表

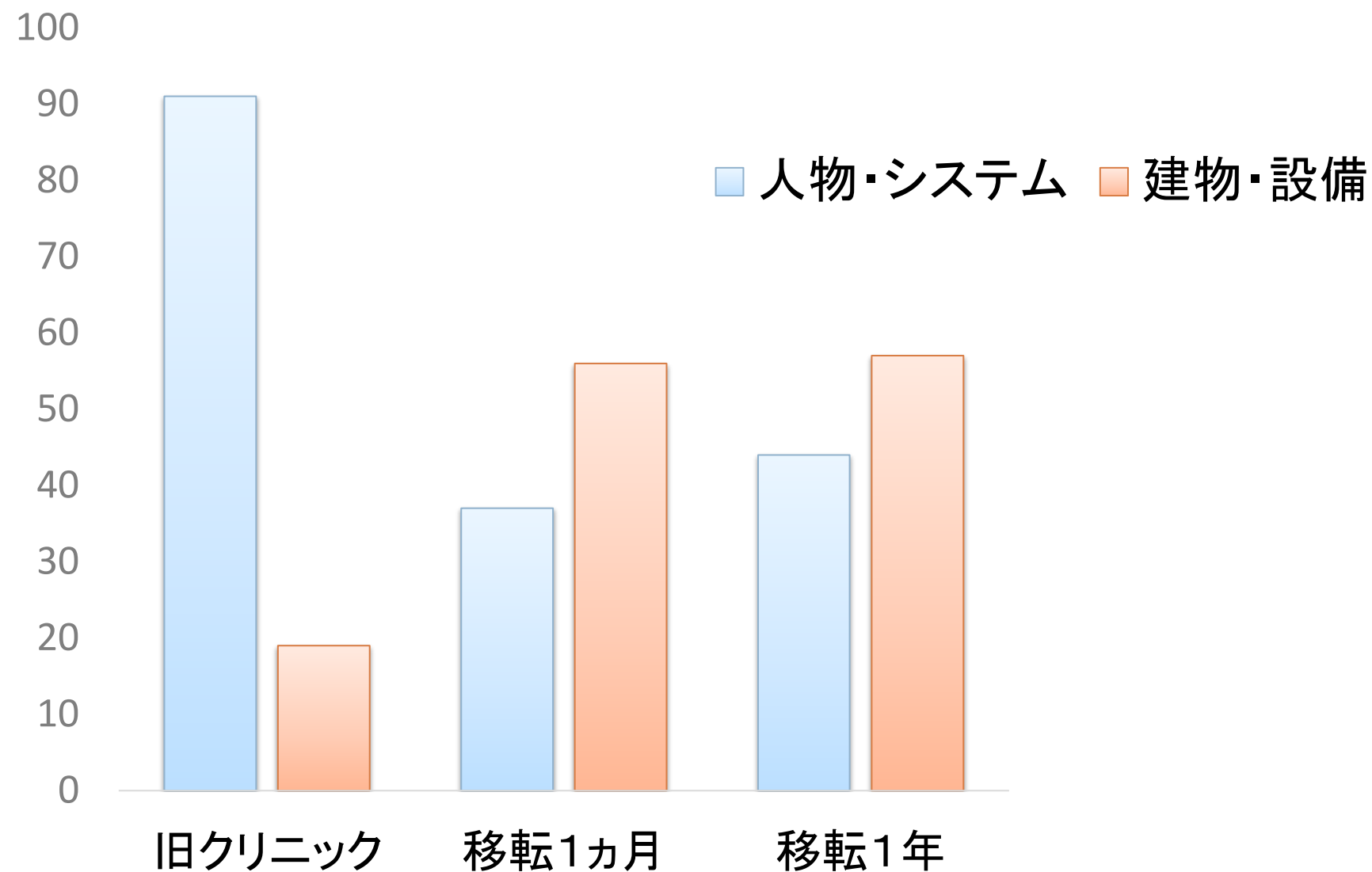
- あなたの、**最近一週間の気持ち**について、おうかがいします。以下のそれぞれの項目について、「1:まったくなかった」から「5:非常に多くあった」のうち、当てはまる番号を1つ選んで、○をつけてください。

	なま かつ つた たく	なあ かま つり た	いど えち なら いと も	あや つや た	あ非 つ常 たに 多く
回答例	1	2	3	4	5
1 クリニックへの通院中にも何か楽しみを見出そうとする	1	2	3	4	5
2 元気がいっぱいだ	1	2	3	4	5
3 すぐかっとなる	1	2	3	4	5
4 疲れた	1	2	3	4	5
5 孤独でさみしい	1	2	3	4	5
6 だるい	1	2	3	4	5
7 積極的な気分だ	1	2	3	4	5
8 ふきげんだ	1	2	3	4	5
9 透析室に行きたくないと思う	1	2	3	4	5
10 うんざりだ					

アンケート票²(設問2)⁵

結果 「気に入っているところ」の比較

第1回答（一番最初に思い付いて書いたもの）

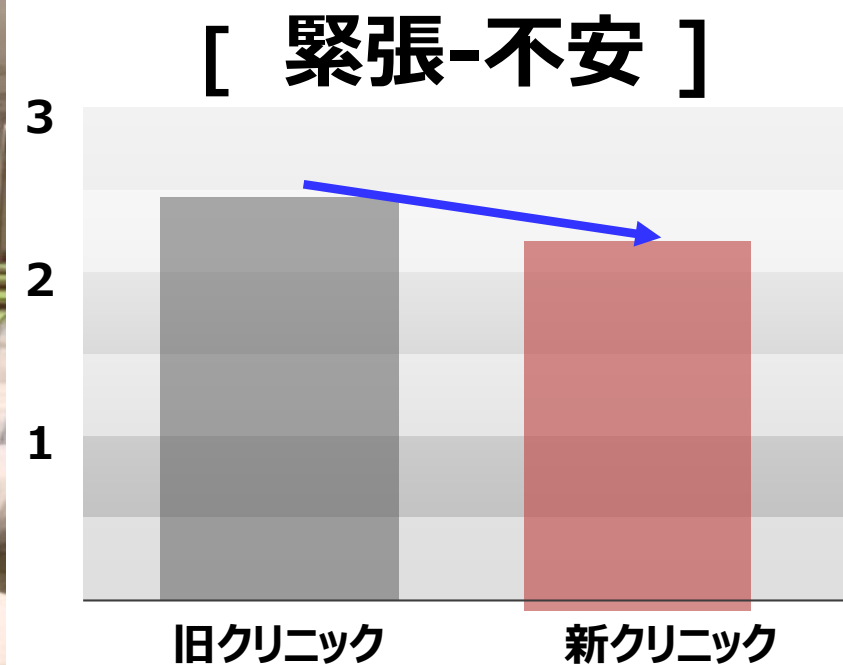


旧クリニックでは、第1回答における「人物や設備」が、移転後は「建物・設備」の出現比率がそれぞれ多く、回答の種類の出現比率が異なった

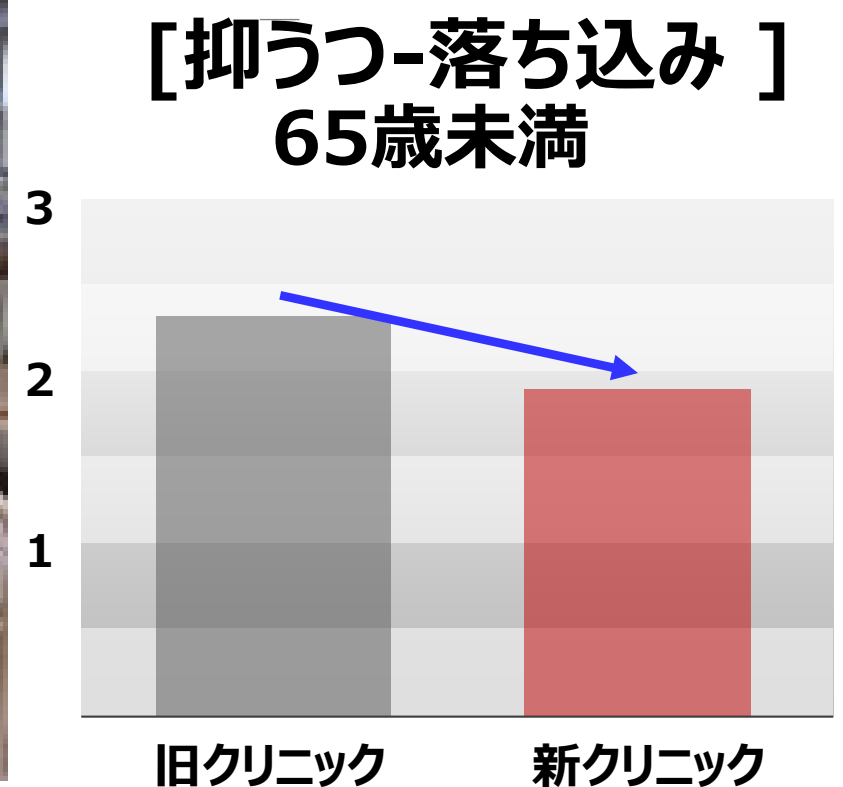
（ X^2 検定の結果、有意）



旧クリニック



「最近1週間の気持ち」
分析結果



新クリニック



POMS 短縮版の評定値の比較
患者の心理に変化を与え陰性気分を低下する効果があったことが示唆された

透析室の昨今

以前

透析は特別な治療



治療主体

近年

透析は生活の一部と捉える傾向



治療＋快適性

クリニックにおいては
患者自身や家族から施設が選ばれる時代

施設の魅力アピール
差別化

5年経っても

この間、患者さんの取り巻く環境は変化し背景は多様化してきているが、患者さんの聞き取り範囲では満足度は維持できている

その他

- 主な受賞

グッドデザイン賞

ウッドデザイン賞

鈴木禎次郎賞

照明普及賞

医療福祉建築賞

柏市都市景観賞

日事連建築賞

JIA環境建築賞



- NHKワールド DESIGN TALKでの紹介



木材に対する注目度の高さを実感

地域における貢献

- 近隣3校からの中学生職場体験
「木のイメージで、明るくて病院らしくないので抵抗感がなかった」
「めぐりの庭での実習が楽しかった」
↓
学生の満足度に繋がっている

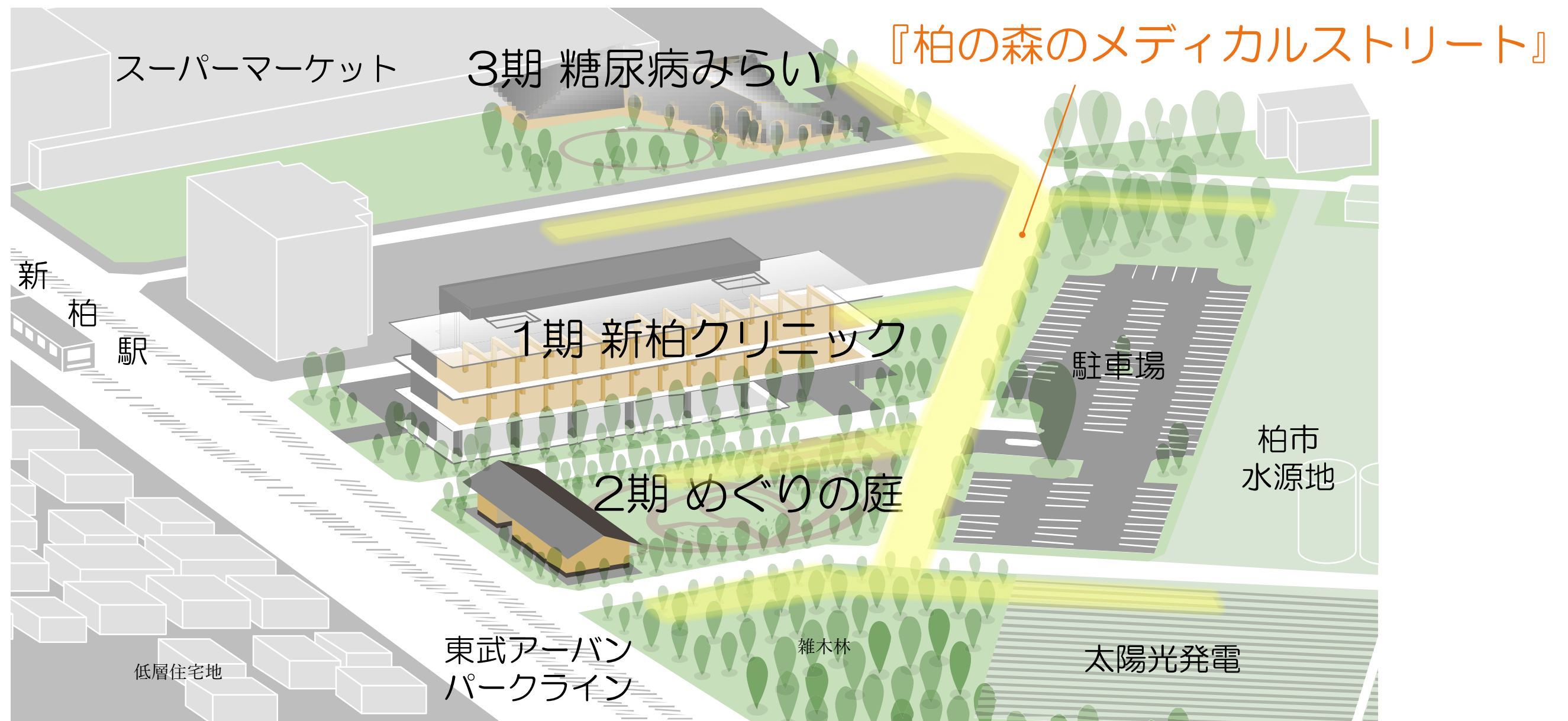


「めぐりの庭」

- 大学生の見学
「住んでいる地域の気になる建築物を調べる」課題
「木材と照明の関係を調べる」実験
- 園庭を持たない保育園の「めぐりの庭」開放



元々里山の風景が広がっていた地に、第1期計画から一貫して『健康』と『緑』をテーマとし、患者だけでなく地域住民にも癒しを与える場、自称『柏の森のメディカルケアタウン』を目指し街区全体を計画をしています



今年度「新柏クリニック糖尿病みらい」開設



ご清聴ありがとうございました

